株式会社 大日電子

無線技術の伝承と発展を続ける 44th Anniversary

2023 年度　環境経営レポート

（対象期間 2023 年7月1日～ 2024 年6月30日）

エコアクション21
認証番号 0008119

発行日： 2024年12月13日

目　　次

項　　目	ページ
経営理念	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
社内取り組みの紹介	11

□経営理念

- モノ創り、ヒト創り、組織創り、未来創りでスパイラルアップします。
- 顧客の期待が満足と信頼に変わることを常に志向し、積極的に新技術への挑戦をおこないます。
- 社員が喜べる会社にします。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

株式会社大日電子は、地球環境問題を、事業活動をする上での重要課題の一つと認識し、電気通信機器の設計・開発、製造、販売、工事及び保守の事業活動において、環境への取組と環境負荷の削減に努め、地球環境の保全と社会への貢献を目指し活動します。

＜環境保全への行動指針＞

１．具体的に次のことに取り組みます。

① 二酸化炭素排出量の削減
- 事業所における電力の使用量削減
- 自動車用燃料の使用量削減

② 廃棄物排出量の削減
- 廃棄物（一般・産業）の分別の削減

③ 排水量の削減
- 水道の使用量削減

④ 環境に配慮した製品の開発の推進

⑤ 化学物質の適正管理

２．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

３．環境への取り組みを全ての従業員に周知し、環境活動レポートとして取りまとめ公表します。

制定日：　2020年6月30日
改定日：　2020年9月30日

代表取締役　枚本　知仁

□組織の概要

（１） 名称及び代表者名
株式会社大日電子
代表取締役　枚本　知仁

（２） 所在地
本　　社　　大阪府吹田市江の木町１２番２７号

（３） 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　管理グループ　山岸　亮一　　TEL：06-6339-6299
担当者　　管理グループ　山岸　亮一　　TEL：06-6339-6299

（４） 事業内容
電気通信機器の設計・開発、製造、販売、工事及び保守
主要製品：ＦＭ基地無線装置、列車無線装置、緊急地震速報装置

（５） 事業の規模
売上高　　858 百万円

	本　　社	合計
従業員　　名	42 名	42 名
延べ床面積　　㎡	1471 ㎡	1471 ㎡

（６） 事業年度　　７ 月１ 日～６ 月 30 日

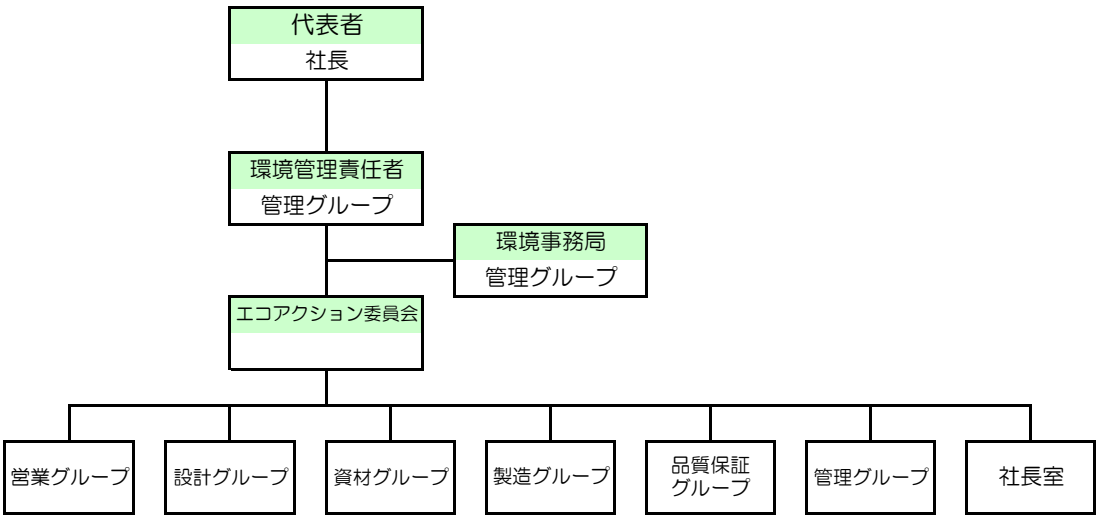
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　　株式会社大日電子
対象事業所：　　本　　社

活動：　　電気通信機器の設計・開発、製造、販売、工事及び保守

□製品の紹介

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、エコアクション委員会の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
エコアクション委員会	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
グループ長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	74,515	72,748	72,138
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,825	1,817	1,737
産業廃棄物排出量	kg	268	560	338
食品廃棄物				

※二酸化炭素排出係数　　0.42 kg-CO2/kWl 電力会社の調整後の係数
※負荷の実績は工事現場を含む
関西電力【A0272】R4年実績R5.12.22環境省・経済産業省公表、R6.7.19一部追加・更新使用

□環境経営目標及びその実績

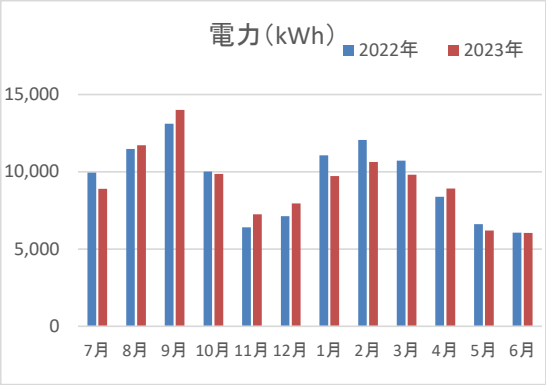
項　目 ＼ 年　度		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		（基準年）	（目標）	（実績）		（目標）	（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	47,449	47,449	46,615	○	46,500	45,551
	基準年度比	2022年	100%	98%		98%	96%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	197	197	197	○	193	189
	基準年度比	2022年	100%	100%		98%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	25,102	25,102	25,326	×	24,600	24,098
	基準年度比	2022年	100%	101%		98%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	72,748	72,748	72,138	○	71,293	69,838
一般廃棄物の削減	kg	1,817	1,817	1,737	○	1,781	1,744
	基準年度比	2022年	100%	96%		98%	96%
産業廃棄物の削減	kg	560	560	338	○	549	538
	基準年度比	2022年	100%	60%		98%	96%
水道水の削減	m^3	357	357	367	×	350	343
	基準年度比	2022年	100%	103%		98%	96%
溶剤使用量削減（あるいは適正管理）	kg	7	7	6	○	7	7
	基準年度比	2022年	100%	82%		98%	96%
環境配慮製品の開発推進	行動目標（次項による）						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成　×未達成

活動：◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

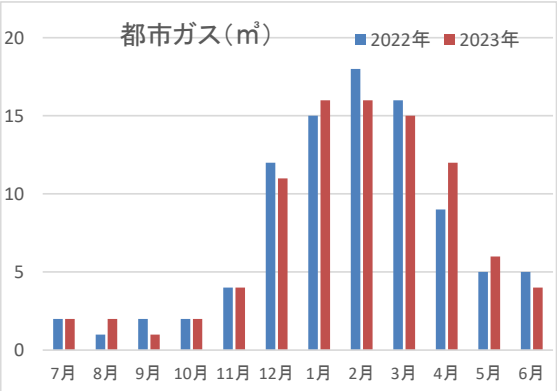
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	前年度と比べ、今年度は繁忙期の時期が減少したが、不具合対応等で装置のデバッグ時間が増加した為、累計に比べ月次目標の未達成が多かった。全社員に適時結果の報告をし、目標達成出来る月を増やせるように協力をお願いする。
・空調温度の適正化（冷房２８℃　暖房２０℃）	○	
・不要照明の消灯	○	
・ノー残業デーの実施	×	
・生産工程の待機時間短縮	△	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	



取組紹介欄

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	9,944	11,479	13,113	10,014	6,402	7,131	11,056	12,068	10,714	8,388	6,609	6,056
2023年	8,889	11,711	14,002	9,859	7,238	7,958	9,724	10,640	9,803	8,919	6,203	6,043

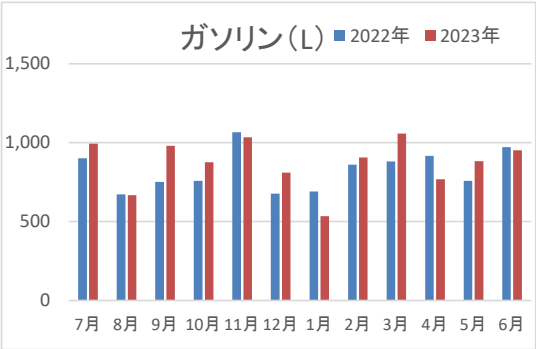
都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	ガスの使用量の目標達成はできており、 昨年度と使用量はほぼ変化がないので このまま達成率を上げられるよう協力をお願いする。
・ボイラ・加熱炉の空気比	△	
・蒸気・温水配管の保温修理	×	
・温水温度の適正化	○	



取組紹介欄

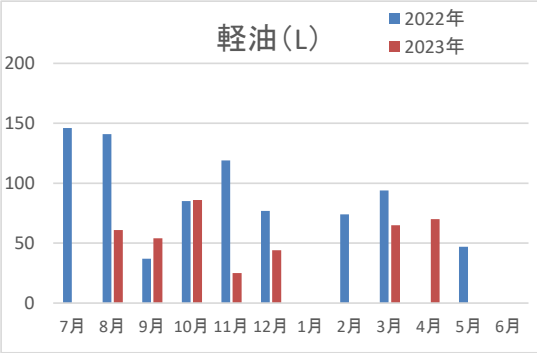
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	2	1	2	2	4	12	15	18	16	9	5	5
2023年	2	2	1	2	4	11	16	16	15	12	6	4

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	累計達成率を見ると、目標未達成が多い。 公共交通機関での移動が可能な場合は極力利用し使用量を削減し、引き続き昨年度同様に不具合等が原因である遠方の仕事量を減らすことを目標にしたい。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	△	
・エリア別営業活動の見直し	△	

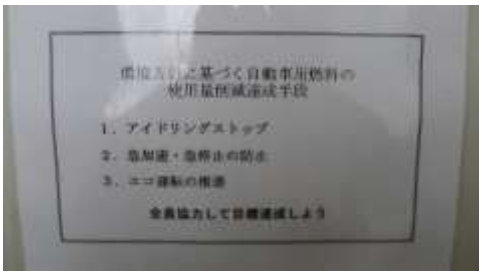


取組紹介欄

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	901	673	751	759	1,067	677	691	861	881	917	758	972
2023年	994	668	981	876	1,035	811	535	907	1,057	769	882	951

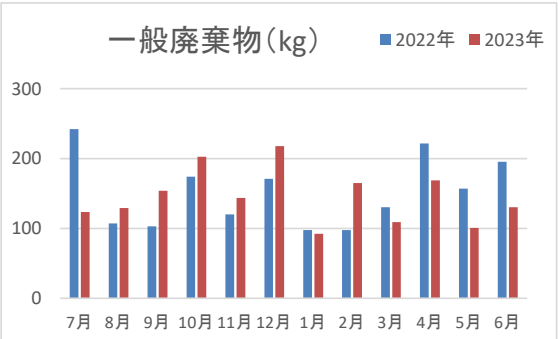


取組紹介欄



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	146	141	37	85	119	77	0	74	94	0	47	0
2023年	0	61	54	86	25	44	0	0	65	70	0	0

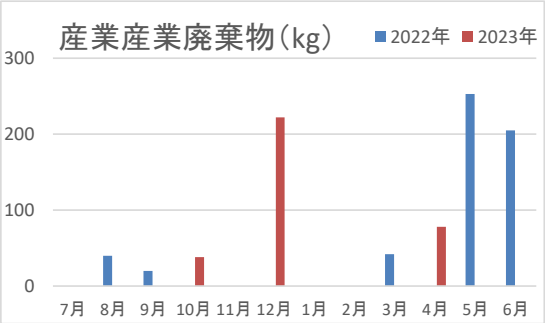
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今年度としては目標達成している。 前年度と同様に、裏紙等の再利用を積極的におこない廃棄量を減らしていきたい。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	△	
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	
・梱包材の再利用	○	



取組紹介欄

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	242	107	103	174	120	171	98	98	131	222	157	196
2023年	124	129	154	203	144	218	92	165	109	169	101	131

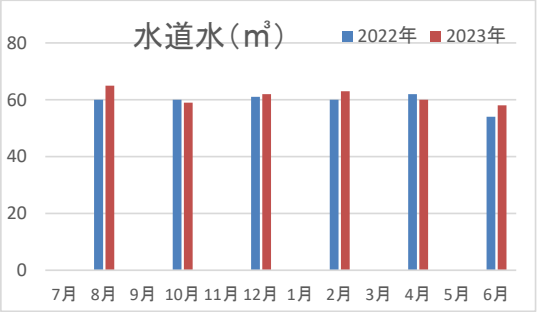
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	本年度も作業場の整理整頓や故障した椅子等を処分したりもしたが、 目標は達成できた。 今後とも製造や設計の不具合による廃棄品を少なくする等周知は徹底し継続していきたい。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・リサイクル業者の開拓	○	



取組紹介欄

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	0	40	20	0	0	0	0	0	42	0	253	205
2023年	0	0	0	38	0	222	0	0	0	78	0	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	全体で見ると通年で目標未達成。 次年度は引き続き節水を心がけるようにお願いする。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	×	
・自動水栓取り付け	○	
・トイレに擬音装置取り付け	×	



取組紹介欄

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	0	60	0	60	0	61	0	60	0	62	0	54
2023年	0	65	0	59	0	62	0	63	0	60	0	58

溶剤使用量削減（あるいは適正管理）	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。引き続き化学物資の適正管理をする。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・発注量の適正化	○	
・代替物質の検討	△	

環境配慮製品の開発推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
ＲｏＨＳ指令適合部品使用製品製作推進	○	基準年度　59,662万円 2023年度　62,443万円　　次年度も継続する

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。
取組み期間中において、環境上の苦情や要請等はありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：　火災の発生	
■実施日：　2024/6/28	■実施場所 本社
■参加者：　役員１名　従業員40名	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価：	手順書の変更の必要性　☐ あり　☑ なし
• 出火場所が事業所のB棟2階炊事室であったため避難経路は、A棟及びB棟の正面玄関、及びA棟開発室南側搬入口に分散して避難したため問題はなかった。また、２階に取り残された場合を想定し、大会議室にある避難はしごを実際に取り出し、所定の取付け場所に固定して使用可能か確認した。 • 地震等非常事態に対応するため直下型と海溝型の地震の種類によって避難場所が異なることを確認した。 • 来客時を想定して避難誘導訓練ができた。	
■実施状況の様子 	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：　2024年11月15日

環境改善活動ＥＡ２１を開始して、１０ヶ年が経過した。
　従業員の環境経営意識の向上は問題なく進んだ。また、環境活動計画の見える化（グラフ化）により、より実態を把握することができた。
　更に環境問題を改善するために、以下のことを推進すること。
　　１）未達成の環境目標を重点的に再検討し、具体策を立案実行すること。
　　２）全員で、目標達成のため協力しあうこと。
　　３）各個人の役割を十分自覚して環境改善をすること。

　今後もＥＡ２１の活動を維持し、「地球環境の保全と社会への貢献」を目指し活動します。

環境経営方針	☑ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☑ 変更なし	☐ 変更あり

□社内取り組みの紹介

(1) 掃除でのコミュニケーション
毎朝、始業後15分間社長も含めて社員全員で社内の掃除をしています。「一流ホテルのようですね！」と来社されたお客様に喜んでいただけるよう、ホコリひとつないオフィスを目指しています。そして、何よりも大切なのは、大日電子にとって掃除は社員同士の大切なコミュニケーションツールの一つであるということです。掃除をきっかけに、心の3K「感謝・気遣い・謙虚さ」を養います。毎朝「ありがとう」という感謝する心、「手伝おう」という気遣い、そして「支え合おう」という謙虚な心を全員で学んでいます。

(2) はなしのたねでコミュニケーション
毎年、はなしのたねというポスターを製作し、事務所の玄関に飾っています。はなしのたねの由来は、「このポスターを見て、社員同士、お客様と社員の間で話をするきっかけになればいいな」という想いからです。社員の顔写真や、毎年変わる質問への回答が書かれています。来社されたら是非ご覧ください。